

名蓋川復旧対策検討会

設立趣意書

令和 4 年 9 月 1 3 日

令和 4 年 7 月 1 5 日深夜から 1 6 日昼頃にかけて、県の北部を中心に広い範囲で強い雨となり、大崎市古川では、時間雨量、日雨量ともに観測史上 1 位を更新するなど記録的なものとなり、2 河川 4 箇所で決壊するなど、河川の氾濫、土砂災害や浸水被害が発生し、県内各地の河川管理施設に被害が発生した。

特に大崎市の名蓋川においては、河川整備計画規模を上回る降雨であったことから河川改修のみでは早期の対応が困難であり、流域全体で様々な対策を検討する必要がある。

このため、被災メカニズムの分析とその結果を踏まえた対策等について意見を伺うことを目的として、学識経験者や有識者より構成される検討会を設置する。